

参加者様
保護者様

大阪 YMCA

新型コロナウイルス感染拡大防止対策について

新型コロナウイルスに感染しない、させないよう参加する一人ひとりが留意しつつ、共に安全を創り出しながら活動してまいります。以下ご確認いただき、以下の事項に同意の上、ご参加をお願いいたします。

【感染防止に対する基本的な考え方】

1. 三密（密閉空間、密集場所、密接場所）を避ける
2. 必要な身体的距離（できれば2m以上）を確保する
3. 近距離での会話や発声を避ける
4. 小まめな換気を行う
5. マスクを着用し、手洗いやうがい、手指や用具の消毒を徹底する

【活動参加にあたってのお願い】

1. 毎朝の検温及び健康チェックをしてください。下記の症状が見られる場合は活動をお控えください。
①発熱（37.5℃以上） ②倦怠感 ③呼吸器の症状（息苦しさ） ④喉の痛み
⑤咳 ⑥味覚感覚がない ⑦新型コロナウイルスの症状に当てはまるもの
2. 37.5度以上なくとも平熱より高く、体調不良を感じる場合も参加をお控えください。
3. 発熱が2日以上続いた場合は医療機関等にご相談いただき、医療機関から参加の承諾を得てください。
4. 発熱からの解熱後4日以内は、参加をお控えください。
5. ご家族、同居者の方に発熱や上記に該当する症状がある場合は、参加をお控えください。
6. ご家族、同居者の方に感染している方や感染者への接触があることが判明した場合は、YMCAにご連絡ください。
7. ご家族等で感染拡大している国や地域からの帰国後14日以内である場合は、参加をお控えください。
8. プログラム参加中に発熱や該当する症状が見られた場合には、保護者の方のお迎えならびにご帰宅の手配をとらせていただきます。
9. 活動以降に体調の変化が現れた場合、速やかにYMCAにご連絡ください。
10. 発熱のご当人でなくても該当する症状が見られた場合には、事情によって各ご家庭においてPCR検査等を実施いただく場合があります。
11. 万が一、プログラム中及びその前後に新型コロナウイルスに感染した場合、感染したと考えられる場合、また感染したと推定される場合、その事から生じる一切の責任について大阪YMCAが負わないことに同意しご参加ください。

【活動に際しての感染防止の取り組み】

1. 体調管理について

- ① 指導者は毎朝の検温及び健康チェックを行い、新型コロナウイルスの症状が認められない者、また抗原検査をキャンプ前に実施し、異常の見られない者のみ参加します。
- ② 参加者は毎朝の検温及び健康チェックをしていただきながら、活動4日前から「体調管理表（定例プログラム）・参加者カード（特別プログラム）」へ検温結果をご記入いただき、集合時受入れリーダーへご提示（定例プログラム）・ご提出（特別プログラム）ください。
- ③ 宿泊を伴うプログラムについては、参加者においても配布する抗原検査を実施ください。

2. マスク着用について

- ① 必ずマスクを着用し、活動にご参加ください。登山などの運動強度の高い活動、火を扱う等の安全管理上マスクを外す場合には、不必要な会話や大声での発生は行わず、身体的距離を確保して活動していただきます。
- ② 運動強度の高い活動についても、指導者はできる限りマスクを着用し活動に参加します。
- ③ 飲食や入浴の際は、対面を避け、身体的距離など配慮しながら不必要な会話や発声も最小限にします。
- ④ 就寝の際は、隣同士の向きが互い違いになるよう配置し、マスク着用に努めます。

3. 手洗い、うがい、消毒について

- ① 適宜アルコール消毒を行います。肌の弱い方やアレルギー症状のある方は、個別にご用意やご相談ください。
- ② 飲食や炊飯プログラム前、トイレを利用した後、プログラム実施前後には手指消毒を実施し、手洗い、うがいは適宜実施します。
- ③ 野外料理プログラムの場合は、調理器具や機材は消毒や流水での洗浄を行い、テーブルや調理台等は消毒を実施してから使用します。
- ④ 鼻水、唾液などが付いたごみは、ビニール袋に入れて密閉し処分します。ごみを回収する人も含め、実行後は手洗いや消毒を行います。
- ⑤ 共有備品（ボール、コーン等）を使用する際は、消毒を行います。

4. 換気について

- ① 活動中は全体で集まることを極力避け、8～12名程度のグループ毎に活動します。
- ② 宿舍や部屋を利用する際は、窓・ドアの開閉など換気を天候上可能な限り行います。また部屋、浴室、食堂等の1度に利用する人数を減らし密集を避けます。
- ③ 公共交通機関（電車・路線バス等）を利用する際は、1車両に乗るグループ数を減らす、乗車中は窓を開けるなど密閉・密集を避けます。 ※マスク着用が基本です。
- ④ 貸切バス（大型・マイクロ等）は、空調システムによる外気との空気循環等の感染防止対策を行っているバス会社を使用します。 ※マスク着用が基本です。

5. その他

- ① 水筒等の取り違えを防ぐために、必ず全ての物に名前をご記入ください。
- ② 集合、解散はグループ毎に行い、活動終了後は速やかに解散できるよう緊急性の高い報告以外は現地では省略します。
- ③ 食事は施設職員や指導者からの盛り付け、もしくは手指消毒やビニール手袋、マスク着用を行ったビュッフェ形式での個人配膳を行います。（お弁当や個人炊飯食は該当しません）
- ④ タオル等の備品や飲食物の受渡し、回し飲み等の人と共有する行為を避けます。
- ⑤ 傷病者へ接触する際は、手袋・マスクの着用を徹底します。
- ⑥ 定例プログラム・特別プログラム・活動内容等によって上記該当項目は異なります。

【その他】

1. 感染防止策をとっていきますが、完全に防止できるものではなく、感染するリスクを下げる取り組みとなります。その観点から感染防止に対する心がけや対応、対策が、一人ひとりの自己保全能力を高め、自身で安全を創り出す体験へと繋がると考えています。
2. 新型コロナウイルスの感染防止を引き続き日常生活でも進められるよう、啓発活動を進めます。
3. 新型コロナウイルス対応に伴う差別やいじめが発生しないよう、啓発活動を進めます。
4. 止む追えずマスクを着用できない方もいらっしゃいます。ご理解とご協力をお願いします。

上記記載事項を同意の上、ご参加ください。

以上